

平成 2 2 年度

津別町教育委員会
点検・評価報告書

平成 2 3 年 8 月

津 別 町 教 育 委 員 会

教育委員会の主な事務の管理・執行状況の点検・評価並びに 町議会への報告と町民への公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月より、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関する学識経験者を有する方の知見の活用を図る」ものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等は定めず、各教育委員会が、実情を踏まえて決定し、議会や地域住民の指摘を受けて改善していくこととなります。

津別町教育委員会は、地教行法に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆さまへの説明責任を果たすため、教育目標に基づく主な施策・事業について点検評価を行い、報告書としてまとめました。

なお、本年度は3年目であり、教育に関し学識経験を有する方によるご意見、ご指導はいただいておりますが、学識経験を有する知見の活用については、今後引き続き評価方法の見直しの中で検討してまいります。

平成23年8月

津別町教育委員会

目 次

教育委員会

1	教育委員会	
	(1) 委員名	1
	(2) 委員会開催状況	1
	(3) 条例規則等の制定状況	2
	(4) 委員の活動状況	3

学校教育課

2	平成22年度予算状況	4
	(1) 学校教育関係費	4
3	学校教育の推進	4
	(1) 幼児教育の推進	4
	① 私立幼稚園就園奨励費補助事業	4
	(2) 小・中学校教育の推進	5
	① 就学援助費交付状況	5
	② 少人数学級実施事業	5
	③ 特別支援教育就学奨励補助事業	5
	④ 特別支援教育支援事業	6
	⑤ 教職員住宅浴室等改修工事	6
	⑥ 教材・備品購入経費事業	6
	⑦ 学校保健事業(児童生徒の健康診断)	6
	⑧ 語学指導助手事業	7
	⑨ 全国学力・学習状況調査	7
	⑩ 学校図書整備事業(新規交付金事業)	7
	(3) 高等学校教育の推進	8
	① 津別高等学校振興対策事業	8
	② 津別高等学校地域別入学者状況	8
	③ 奨学金貸与状況	8
	(4) 学校給食の推進	9
	① 学校給食センター運営委員会開催状況	9
	② 学校給食センター事業	9

社会教育課

4	平成22年度予算状況	10
	(1) 社会教育関係費	10
5	社会教育の推進	10
	(1) 社会教育・体育事業	10
	① 社会教育委員研修事業	10
	② 少年期事業	11

③	青年期事業	-----	1 1
④	成年期事業	-----	1 1
⑤	体育指導委員研修事業	-----	1 2
⑥	各種大会事業	-----	1 2
⑦	スポーツ教室・講習会事業	-----	1 3
6	図書事業の推進	-----	1 4
	(1) 図書事業	-----	1 4
7	芸術文化の推進	-----	1 4
	(1) 芸術文化事業	-----	1 4
8	児童館の推進	-----	1 5
	(1) 児童館運営	-----	1 5
	① 児童館一般利用状況	-----	1 5
	② 児童館内装改修工事	-----	1 5
9	放課後児童健全育成の推進	-----	1 6
	(1) 放課後児童クラブの状況	-----	1 6
	① 放課後児童クラブ登録状況	-----	1 6
	② 放課後児童クラブ利用状況	-----	1 6
	③ 放課後子ども教室登録状況	-----	1 6
1 0	体育施設管理の推進	-----	1 7
	(1) 体育施設管理事業	-----	1 7
	① 体育施設営繕関係	-----	1 7
	② 体育施設管理委託関係	-----	1 7

教育委員会

(1) 委員名

職名	氏名	選任年月日	住所
委員(委員長)	布瀬 勝明	平成 8年10月 1日	共和 21-13
委員(職務代理者)	松平 範慶	平成17年10月 1日	緑町 8
委員	白木 晴海	平成19年10月 1日	大通 21
委員	松田 真理	平成20年 9月21日	豊永 64-45
委員(教育長)	阿部 博道	平成19年 1月26日	旭町 73-46

(2) 委員会開催状況

期日	出席委員数	付議案件等
H22. 4.27	5	議案：津別町奨学審査委員会委員の委嘱について 他7件 協議：学校評価について 報告：放課後児童クラブの状況について
H22. 5.28	5	議案：津別町学校給食センター運営委員会員の委嘱について 他5件 協議：教育委員の学校視察について 報告：公立高等学校適正配置計画について 他6件
H22. 6.24	5	議案：津別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について 他1件 協議：津別町特別支援教育就学奨励補助について 報告：平成22年度スポーツ合宿について 他2件
H22. 7.30	5	議案：津別町立学校学校歯科医の委嘱について 他3件
H22. 8.24	5	議案：平成23年度使用小学校教科用図書の採択について 他5件 協議：平成22年度津別町の教育
H22. 9.29	5	選挙：津別町教育委員会委員長の選挙について 議案：津別町教育委員会委員長職務代理者の指定について 他1件 協議：津別町民生委員推薦会委員の推薦について 報告：非常勤講師の発令について
H22.11.17	5	諮問：心身に障害を有する児童生徒の就学指導に係る諮問 議案：津別町教育委員会顕彰について 他1件 協議：全国学力・学習状況調査の結果について 報告：平成22年度北見ブロック教育委員研修会について

H 22. 12. 27	5	議案：津別町教職員住宅管理規則の一部改正について 報告：平成 23 年度主要事業・施策の町長査定結果について	他 2 件 他 2 件
H 23. 1. 27	5	議案：平成 23 年度心身に障害を有する児童生徒の就学について 協議：全国学力・学習調査について 報告：区域外就学について	他 1 件 他 1 件 他 5 件
H 23. 2. 21	5	議案：教職員(管理職)の人事異動について 協議：中学校卒業式の日程調整について 報告：平成 23 年度教職員着任式の日程について	他 2 件 他 2 件
H 23. 3. 24	5	議案：津別町特別支援教育就学奨励補助規則の一部改正について 協議：学校給食危機管理マニュアル(異物混入・食中毒対応)について 報告：会計検査院実地検査結果について	他 3 件 他 1 件 他 2 件
開催概要	<ul style="list-style-type: none"> 津別町教育委員会議は公開し原則として毎月 1 回開催し、「地方教育行政の組織運営に関する法律」及び「教育委員会事務委任規則」、「津別町教育委員会会議規則」に基づき審議を行った。 		

(3) 条例規則等の制定状況

番号	題名	公布月日	施行月日	
規 則	第 5 号	・津別町立学校管理規則の一部を改正する規則	22. 7. 30	22. 7. 30
	第 1 号	・津別町特別支援教育就学奨励補助規則の一部を改正する規則	23. 3. 24	23. 3. 24
	第 2 号	・津別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則	23. 3. 24	23. 3. 24
	第 3 号	・津別町温水プール条例施行規則の一部を改正する規則	23. 3. 24	23. 3. 24
訓 令	第 1 号	・修学旅行の引率業務に従事する津別町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の制定	22. 7. 30	22. 7. 30
告 示	第 7 号	・津別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱	22. 6. 24	22. 6. 24
	第 4 号	・津別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱	23. 3. 24	23. 3. 24

(4) 委員の活動状況

教育委員会会議以外の活動状況（教育長を除く）

日 付	活 動 内 容	委 員 名
H22. 4. 1	教職員着任式	全教育委員
H22. 4. 6	津別小学校入学式	布瀬委員長
H22. 4. 6	活汲小中学校入学式	松田委員
H22. 4. 6	津別中学校入学式	松平職務代理者
H22. 5. 28	管内教育委員会協議会総会	布瀬委員長
H22. 6. 24	各学校訪問	全教育委員
H22. 7. 8	北海道市町村教育委員研修会	全教育委員
H22.10. 3	第9回紅葉マラソン大会	布瀬委員長
H22.11. 3	津別町功労者表彰式	全教育委員
H22.11. 29	北見ブロック教育委員研修会	全教育委員
H22.12. 6	網走管内市町村教育委員大会	全教育委員
H23. 2. 12	網走管内教育委員会協議会役員会	布瀬委員長
H23. 2. 25	網走管内教育委員会協議会表彰式	全教育委員

学校教育課

2 平成22年度予算の状況

(1) 学校教育関係費

(単位：千円)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	構成比(%)
教育総務費	106,165	109,651	△3,486	40.1
教育委員会費	2,199	2,165	34	
事務局費	92,046	96,595	△4,549	
義務教振興費	7,132	4,578	2,554	
語学指導助手 招致事業費	4,788	6,313	△1,525	
小学校費	56,955	52,479	4,476	21.5
学校管理費	48,447	45,134	3,313	
教育振興費	8,508	7,345	1,163	
中学校費	46,143	34,872	11,271	17.4
学校管理費	35,838	24,462	11,376	
教育振興費	10,305	10,410	△105	
保健体育費	55,525	61,469	△5,944	21.0
学校保健費	3,718	3,209	509	
学校給食費	51,807	58,260	△6,453	25.5
合計	263,888	258,471	6,317	100.0

3 学校教育の推進

(1) 幼児教育の推進

① 私立幼稚園就園奨励費補助事業（継続事業）

事業の目的	・所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と幼稚園教育の振興を目的に、私立幼稚園の入園料・保育料の減免を行う場合に、その設置者に対して補助しています。（国庫補助事業で補助率1/3以内）
事業概要	・平成22年度補助対象園児数 35人 ・予算額 3,950千円
成果と課題	・入園児の保護者に対して経済的負担軽減につながっている。 ・就園奨励費補助世帯が年々増加傾向にある。国庫補助率が低く町の持ち出し額は園児が少ない分減少しているが、1人当たりの町費は年々増加傾向にある。

(2) 小・中学校教育の推進

① 就学援助費交付状況（継続事業）

事業目的	・経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に必要な援助を行い義務教育の機会均等を図る。					
事業概要 要保護・準要保護児童生徒援助費	区 分	援助品名	小 学 校		中 学 校	
	学用品費	文房具等	26人	281,274	17人	352,842
	通学用品費	靴・傘等	22人	46,308	12人	25,324
	新入学用品	ランドセル等	4人	79,600	5人	114,500
	体育実技用	スキー用具	8人	202,400	5人	181,500
	修学旅行費	旅行経費	4人	65,200	4人	219,188
	研修費	校外活動費	5人	15,000	6人	15,974
	医療扶助費	う歯治療費	2人	21,756	0人	0
	給食費	給食代	26人	1,177,680	17人	854,496
		合 計		1,897,976		1,780,598
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ制度周知を図り随時申請を受け付け円滑な認定（援助）に努め必要な認定を行った。 ・学校長及び民生児童委員から意見を聞いて判定しているが、生活状況の把握が難しい現状にあるため、関係機関と連携を深め適切な認定に努める。 					

② 少人数学級実施事業（継続事業）

9,348千円

事業目的	・少人数による学級編制を行うことによって、児童に対する教員の個別指導等が徹底され児童の基礎学力の向上等につながるため、平成21年度より町独自事業として継続実施している。
事業概要	・国は平成23年度～27年度の5カ年計画により、小学校全学年での1学級35人の少人数学級を推進しているが、津別小学校の4年生及び5年生の児童数が共に僅少差で1学級であるため、町独自で臨時教員2名を採用し2学級編制として少人数学級を実施。
成果と課題	・1学級20人前後となり、児童の個別指導・見取り等が可能となり基礎学力の向上につながっているが、臨時教員の確保が課題である。

③ 特別支援教育就学奨励補助事業（新規事業）

786千円

事業目的	・津別町立小学校及び中学校に開設する特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、就学奨励補助を行うことにより、特別支援教育の推進を図り、児童生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。
------	---

事業概要	・就学奨励補助として、学用品費、通学費、修学旅行費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費について、毎年度国が定める国庫補助単価額と、学校及び教育委員会が徴収する額の1/2を保護者へ補助する。小学校費 637 千円、中学校費 149 千円
成果と課題	・特別支援の児童生徒の教育機会の均等が保障されるとともに、保護者の負担軽減が図られた。

④ 特別支援教育支援事業（継続事業）

事業目的	・障がいをもった児童生徒一人ひとりの発達に合わせた適切な指導や支援を図る。
事業概要	・特別支援学級の状況 津別小学校 4 学級（情緒・知的・肢体・言語） 9 名（教員 4 名） 津別中学校 1 学級（知的） 2 名（教員 2 名） 活汲小学校 3 学級（情緒・知的・肢体） 3 名（教員 3 名）
成果と課題	・特別支援学級への支援及び普通学級に在籍する発達障がいのある児童生徒の支援体制が図られた。

⑤ 教職員住宅浴室等改修工事（継続事業）

7,365 千円

事業目的	・教職員住宅浴室等改修工事（豊永 3 戸）
事業概要	・教職員住宅は、殆どが建設当時から改修をしていないため、劣化が著しく内部及び浴室（ユニットバス）の改修を行った。 平成 21 年度より継続して毎年 2～3 戸の改修を計画的に行う。
成果と課題	・改修により生活環境の改善が図られた。

⑥ 教材・備品購入経費事業

4,994 千円

事業目的	・小中学校の教材・備品等の整備充実を図る。
事業概要	・小学校用教材備品等購入 2,508 千円 図書購入 960 千円、理科教材等備品 699 千円、教材消耗品 849 千円 ・中学校用教材備品等購入 2,486 千円 図書購入 490 千円、理科教材等備品 1,460 千円、教材消耗品 536 千円
成果と課題	・新学習指導要領移行に伴う理科教育備品や各教科の教材を整備し学習環境の整備・充実が図られた。

⑦ 学校保健事業（継続事業）

3,718 千円

検査項目	対象児童生徒	検査項目	対象児童生徒
内科検診 結核検診	全児童生徒	心臓検診(心電図)	小1・中1年生
歯科検診	全児童生徒	尿検査	全児童生徒

耳鼻科検診	小4・中1年生	寄生虫卵検査	小1～小3年生
眼科検診（視力検査）	小1～小3年生 その他の学年：気になる児童生徒		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康診断により、疾病の予防措置を行い、また治療を指示することができる。 ・検診結果に基づき児童生徒の発育や健康状態を正しく把握し、児童生徒の日常生活を含めた保健指導や相談業務の対応を図る。 		

⑧ 語学指導助手事業（継続事業）

5,036千円

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体国際化協会を通して英語指導助手1名を招致し、児童生徒の英語力の向上、英会話を通してコミュニケーション能力や国際理解教育の推進を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・講師：ゴールドン グレゴリー ブライアン（アメリカ）H21.8～ ・内容：小学校での外国語活動教育及び国際理解教育 中・高校の英語科授業及び国際理解教育 等
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに各学校と打ち合わせを行い、学校派遣を行った。今後とも小・中・高校と連携を図りながら効果的な学習活動の補助を行っていく必要がある。

⑨ 全国学力・学習状況調査（継続事業）

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各学校が児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握分析し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・調査実施日時 平成22年4月20日（火） ・調査対象学年及び科目 小学校6年生 国語・算数 ・中学校3年生 国語・数学
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本調査と独自に各学校で実施している調査により、本町各学校の課題が明らかとなった。 ・各学校で本調査の分析を行い領域別に課題を把握し、授業に対する考え方及び教材研究、研修体制の強化につながっている。

⑩ 学校図書整備事業（新規交付金事業）

4,181千円

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度地域活性化交付金（住民に光をそそぐ交付金）を活用し、学校図書を整備するとともに、学校図書のデータ化を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入費 3小学校 1,811千円、2中学校 839千円 ・図書整備賃金 3学校 425千円 ・電子化ソフト備品 3小学校 868千円、2中学校 238千円
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本交付金の活用により、普段購入できない図書の購入が図られた。また、学校図書のデータ化を図ることができた。

(3) 高等学校教育の推進

① 津別高等学校振興対策事業

23,061千円

事業目的	北海道津別高等学校振興対策事業		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年より、地元唯一の高校の存続と特色ある教育活動を支援するため総合的な支援を継続実施している。 バス通学費の補助、青少年海外派遣事業、校納金・教科書等補助を実施。 平成22年度支援事業は、下記のとおり 		
	区分	金額(千円)	備考
	通学費補助	13,916	H8年度より実施
	校納金	860	H16年度より実施
	教科書等	1,476	H16年度より実施
	海外研修派遣	3,600	14泊15日、生徒5引率1計6人
	振興対策協議会	3,209	特別講座事業、中高連携事業 地域連携事業、調査研究事業
	合計	23,061	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 振興対策事業である進路学習等の充実により大学・専門学校等への進学者も増加し、また就職に関しては、厳しい就職状況下でも70%台を確保するなど、成果が現れてきている。 二学級維持は、辛うじて確保されたが、今後も生徒確保には厳しい状況が続くと思われる。 今後とも教育内容の充実と、津別高校の存続に向けての振興対策と振興対策協議会への支援を継続する。 		

② 津別高等学校地域別入学者状況

年度	町内中卒者数	津別町	北見市	美幌町	入学者	地元率
19	59	26	30	2	58	51%
20	52	35	17	1	53	58%
21	51	34	18	4	56	55%
22	62	28	13	0	41	45%

③ 奨学金貸与状況

貸与件数	貸与金額	償還件数	償還金額	貸与内訳
13件	3,720千円	55件	4,032千円	高校生 1人 大学生 12人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育の機会均等と教育の振興を図るため奨学金を貸与する。 22年度は、継続13人の貸与を決定。 専修学校、高等専門学校(4~5年)、大学以上の学生に月額25千円 高等学校、高等専門学校(1~3年)の学生に月額10千円 返還期間、学校卒業の翌年から10年以内に返還しなければならない 			
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 22年度まで奨学金の償還は滞納もなく推移している。今後とも奨学金の貸与を必要とする方々の原資確保のためにも、未納とならないよう努める。 			

(4) 学校給食の推進

① 学校給食センター運営委員会開催状況

54千円

期 日	出席委員数	付 議 案 件 等
22. 6. 21	8	議案：平成21年度学校給食実績について 他3件 報告：オーガニック牛乳の供給について 他7件
委員会概要	・本委員会は、給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため学校給食の基本的な事項及び給食センターの運営等について協議を行う。	
協議事項	・給食費滞納繰越一覧 ・就学援助認定状況 等	

② 学校給食センター事業

55,974千円

事業目的	・安全で安心な学校給食の提供により、児童生徒の身体に必要な栄養を摂取し、あわせて日常生活における正しい食事等を身に付けさせるため学校給食を実施する。
事業概要	・給食費：小学生240円、中学生276円（平成21年度改定） ・平成22年度給食提供数：467名（児童生徒402名・教職員等65名） ・給食主食の種類別週回数：米飯（3回）、麺類（1回）、パン（1回） ・オーガニック牛乳の供給：平成21年度より週1回提供
成果と課題	・現施設は、昭和53年度の建設であり、施設改築が望まれるところではあるが、調理機器等の更新により安全な給食提供が図られた。

社会教育課

4 平成22年度予算の状況

(1) 社会教育関係費

(単位：千円)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	構成比(%)
社会教育費	180,429	157,258	23,171	69.8
社教総務費	78,268	77,784	484	
社教振興費	47,078	42,006	5,072	
会館管理費	55,083	37,468	17,615	
保健体育費	78,197	76,913	1,284	30.2
保体総務費	10,254	9,372	882	
体育施設費	67,943	67,541	402	
合計	258,626	234,171	24,455	100.0

5 社会教育の推進

(1) 社会教育・体育事業

① 社会教育委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見・斜網地区 社会教育委員研修会	H22年10月	管内社会教育委員連絡協議会	・研修テーマ：地域の教育力と社会教育委員の役割
網走管内社会教育 振興セミナー	H22年11月	管内社会教育委員連絡協議会	・管内社会教育のさらなる発展のために「地域の教育力の向上」
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の役割や社会教育をどのような視点で推進していくかなどを研修、今後の活動に役立つ内容であった。 ・開催時期などにより委員全員が参加することが困難である。多くの委員が参加できるよう協議会と日程調整などを充分検討したい。 		

② 少年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
放課後児童クラブ	通年	教育委員会	・留守家庭等の児童の放課後や土曜日などの居場所づくり。
放課後子ども教室 (子どもの居場所確保)	通年	教育委員会	・放課後や土曜日などに子どもの居場所を設け、学習、体験、交流等をする事業。
放課後子ども教室 (体験事業)	通年	教育委員会 津別町 JAつべつ	・土日や長期休日を活用して自然、文化、スポーツ、農業体験などをさせる事業。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や休日の子どもの居場所を設け、様々な体験をさせることができた。 ・高学年（少年団未加入児童等）の登録、参加が少ないので、参加しやすい環境づくりやプログラムを検討していきたい。 		

③ 青年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
青少年海外 研修派遣事業	H22年10月	津別町海外研修実行委員会	・津別高校生5名をニュージーランドに派遣し、ホームステイ等の体験をする事業。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイ期間を15日として実施。通学学習、ホームステイの期間が延びたことにより、より充実した研修成果となった。 ・英語力を向上させるため事前研修等の充実を図る必要がある。 		

④ 成年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
高齢者大学（寿 大学）講座	通年	教育委員会	・月2回の講座、クラブ活動、自治会行事。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として高齢者が持っている能力や経験を生かしながら、学習やクラブ活動を通じて社会参加している。 ・新規加入に努めるとともに、より充実した学習内容を検討したい 		

⑤ 体育指導委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見ブロック体育指導委員研修会	H 2 2 年 1 1 月	管内体育指導委員連絡協議会	・実技講習・交流会
網走管内社会体育振興セミナー	H 2 2 年 1 1 月	管内体育指導委員連絡協議会	・講演・シンポジウム・施設見学・交流会
管内社会体育講座	H 2 3 年 1 月	オホーツク地方教育研修センター管内社会体育連絡協議会	・講義・実技
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるスポーツの振興普及や指導者として必要な実習及び実技を研修し、生活の中に運動を取り入れ、健康増進、体力づくりへの関心を伝えた。 ・住民の健康志向やスポーツニーズに応えるための講習会等を多く開催し、体育指導委員の資質向上を図る。高齢化による後継者の育成、人材の確保が必要となる。 		

⑥ 各種大会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
ふるさと探訪ふれあい歩こう会	H 2 2 年(2回) 5月・9月	教育委員会	・町内及び町外の名所を 3～4 km
紅葉マラソン大会	H 2 2 年 1 0 月	実行委員会	・ハーフマラソン 10 km・5 km・3 km
町民スケート大会	H 2 3 年 1 月	教育委員会	・種目：100～1000 m (個人・団体等)
町民スキー大会	H 2 3 年 2 月	教育委員会	・種目：回転競技等
歩くスキーの集い	H 2 3 年 3 月	教育委員会	・上里国有林内を約1時間程 周回
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然とのふれあいと健康・体力の増進・運動不足の解消を図る。 ・紅葉マラソン：大会運営にあたっての人員配置に苦慮している。 (職員、ボランティア、人員不足) ・他事業については、参加者の増に努める。 		

⑦スポーツ教室・講習会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
水泳教室	H 2 2 年 7 月 計 5 回	教育委員会	・基本的な水泳能力を高め、 また水に対する恐怖心を取り除く。
スケート教室	H 2 3 年 1 月 計 5 回	教育委員会	・正しい基本技術及び滑走の 楽しさを習得 (初～上級の段階別指導)
幼稚園・保育所 スポーツ教室	水泳教室 計 7 回 H 2 2 年 6 月・7 月 スキー教室 計 7 回 H 2 3 年 1 月・2 月	教育委員会	・水に親しむ。 ・スキーに慣れる。
少年少女体力 測定会	H 2 2 年 5 月・1 0 月 計 2 回	教育委員会	・7 種目の測定を実施
ジュニアスキー 講習会（親子ス キー講習会）	H 2 3 年 2 月 計 2 回	教育委員会	・講師を招き小学生・親子・ 特別支援学級のスキー基 礎技術
健康運動教室	H 2 3 年 2 月	教育委員会	・講師を招きウォーキング の講習会
水中運動教室	H 2 2 年 7 月 計 4 回	教育委員会	・専門指導者による水中運 動・エアロビクス運動教 室
シルバー スポーツ教室	H 2 3 年 1 月～3 月 計 1 0 回	教育委員会	・ストレッチ、筋力トレー ニング
転倒予防教室	H 2 2 年 6 月～ H 2 3 年 2 月 計 3 0 回	教育委員会	・水中運動、筋力アップの ためのトレーニング、 レクゲーム等
親子スポーツ 教室	H 2 2 年 6 月・1 1 月 計 2 回	教育委員会	・道具を使った遊び、トラ ンポリン等
スポーツ 推進事業	H 2 2 年 7 月・8 月 計 3 回	教育委員会	・講師によるスポーツの指 導（水泳・野球・サッカー ・バスケットボール）
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から高齢者まで全町民を対象にスポーツ、健康運動に親しみ生涯スポーツ活動の普及振興を図る ・住民要望に応える事業の開催。 指導者の高齢化による後継者育成、確保が必要になる。 		

6 図書事業の推進

(1) 図書事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
読書感想文 コンクール	7月～1月	教育委員会	・読書活動の推進と機会を与えるため、町内の小中学生を対象に、読書感想文を募集し、その中から優秀作品を表彰する。
移動図書 配本事業	通年 (年12回)	教育委員会	・多くの本に触れる機会を増やし、感性豊かな心を育むことを目的として、各小中学校、保育所、児童館等に定期的に配本している。
ブックスタート事業	通年 (年6回)	教育委員会	・乳幼児健診時に9, 10ヶ月乳児の保護者に対し、絵本等を提供し、絵本を通じて親子の絆を深めることの大切さを伝える。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・読書する機会を提供することで、読書の喜び興味を与え、知識を高め情操を養うことができている。 ・図書室が狭く蔵書等の増加により、望ましい読書環境の整備が追いつかない状況にあり、今後、複合的な図書館の整備の検討が必要となる。 		

7 芸術文化の推進

(1) 芸術文化事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
青少年移動 芸術劇場	H22年7月	教育委員会	・「古舘由佳子ジプシーヴァイオリンコンサート 小・中学生・教員 457人 (日本青少年文化センター)
子ども劇場	H22年9月	教育委員会	・「いつか きっと！」 幼児ほか 123人 (劇団風の子)
青少年芸術劇場	H22年9月	教育委員会	・「十二の月の物語」 小学生・教員 275人 (劇団風の子)

第15回日本フィルセミナー・コンサート	H22年9月	津別町民 芸術劇場 教育委員会 津別町	・日本フィル楽団員を講師に全国から集う受講生にセミナーを実施し、最終日にコンサートを開催する事業
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生の音楽や芸術に触れることが少ない環境のなかで、優れた芸術鑑賞の機会を提供。 ・公演内容について十分検討し、見ごたえあるものになるよう努める。 		

8 児童館の推進

(1) 児童館運営

① 児童館一般利用状況

利用区分 利用状況	児童クラブ	一般児童利用	乳幼児・保護者 地域住民等
年間利用総児童数	5,053人	2,383人	2,068人
1日平均利用人数	17.4人	8.1人	7.1人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の健全で楽しい遊び場を提供し、こどもたちの心と身体の健やかな育成を図るための事業展開を行った。また乳幼児と保護者のプログラム（社会教育課、保健福祉課、子育てサークル等）の会場として活用していただいた。 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ登録児と分け隔てなく遊びや生活指導を行っており、子どもたちの居場所として児童が利用している。また地域住民の協力を得て、製作や伝統文化に触れるプログラムも持つことができた。「じどうかんフェスタ」では、関係団体、ボランティアの協力を得て開催することができた。 ・一般児童や地域住民が気軽に立ち寄れる施設になるよう、更なる検討を行う。 		

② 児童館内装改修工事

13,892千円

事業目的	・築後40年を経過することから内装の改修
事業概要	・内装、電気、建具工事等全面改修を行った。
成果	・改修工事により施設の長期使用が可能となった。

9 放課後児童健全育成事業の推進

(1) 放課後児童クラブの状況

① 放課後児童クラブ登録状況（対象児童：小学生）

クラブ名 児童数	つべつ	かっくみ	ほんき	備 考
学区児童数	210人	24人	11人	
登録児童数	33人	16人	11人	
加入割合	15.7%	66.7%	100%	

② 放課後児童クラブ利用状況

クラブ名 利用状況	つべつ	かっくみ	ほんき	備 考
年間利用総児童数	5,053人	2,795人	1,955人	
1日平均利用人数	17.4人	9.6人	6.7人	
事業概要	・次世代を担う児童が、心豊かで健やかに育まれるよう努める。			
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第二の家庭として安心安全な居場所を確保し、異学年等との交流を通じて、自主性、社会性等が身に付けられた。 ・生活指導、学習サポート、遊びなどのプログラムは改善されてきてはいるが、まだ課題となる点も多い。 			

③ 放課後子ども教室登録状況

コース名 登録 児童数	自然文化	チャレンジ キッズ	緑の少年団	農業体験・ だいち	アソビバ・ つべつ
津別小	「アソビバ・つべつ」に統合				72
活汲小					2
本岐小					3
合計					77
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や週末を利用し、子どもたちの居場所づくりの一環で様々な体験活動を提供する事業である。津別町をもっと知ってもらうために、あらゆるフィールドを活用して年間約40回程度の開催を目標としている。 ・子どもだけではなく、親子で参加できる事業や地域の方のボランティアや指導をいただいている事業等もあり、地域全体で楽しむ事業としても展開している。 				

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外であまり遊ばなくなった又は遊べなくなった子どもたちにとって、様々な体験事業は身体的・精神的に大きな刺激を与えています。集団活動での過ごし方や個々の知識や技術向上にもつながっており、ますます重要性が高まっています。また、津別町に住んでいるのに津別町内にあるすばらしい資源を知らずに生活をしている子どもたちに津別を知り、津別から学ぶ楽しさを広める契機となっている。 ・小学校区全体を考えると地区の子どもたちの参加状況が少なく、地域との懇談会時にも挙げられていた送迎の問題がある。本岐地区は農家繁忙期、活汲地区はリコーダー練習が定期で行われており、なかなか参加ができない状況でもある。 ・今後に向けては、児童クラブと連携した事業開催等を通じて、地区の子どもたちにも様々な体験事業を展開していきたい。
-------	--

10 体育施設管理の推進

(1) 体育施設管理事業

① 体育施設営繕関係

(単位：千円)

工 事 名	事業費	工 事 概 要
運動広場野球場外野フェンス塗装工事	338	・外野フェンス塗装
グレステンスキー場リフト ワイヤーロープ	420	・ワイヤーロープ取替修繕
グレステンスキー場スーパースター リフトインバーター	483	・インバーター取替修繕
トレーニングセンターアリーナ壁修繕	101	・アリーナ壁取替修繕

② 体育施設管理委託関係

(単位：千円)

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
多目的 運動公園管理	21,571	津別町 振興公社	・芝生管理、除草、清掃、受付業務等
温水プール 施設管理	4,618	津別町 振興公社	・プールの清掃、施設管理、プール監視等
スケートリンク 造成・管理	1,318	津別農友会 活汲小中 PTA	・造成業務、管理業務
ファミリー スキー場管理	1,768	北見広域 森林組合	・ファミリースキー場の管理、リフトの運行、管理着雪ネットの設置、撤去及びロッジ周辺、リフトコースの除雪

体育施設等管理	4, 1 5 4	津別町 振興公社	<ul style="list-style-type: none"> ・本岐地区多目的公園、達美野球場、町民ゲートボール場、修武館、農業者トレーニングセンター芝生管理、除草、清掃、整地等
トレーニング センター管理	3, 5 0 3	津別町 振興公社	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理業務（利用受付、電話、その他施設管理に関する業務）
グレステン スキー場管理	2 9 4	津別町 振興公社	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用、設備の維持管理等